



令和4年11月15日(火)

## 催し物の秋

先月末から今月にかけて、長洲町の中でも多くのイベントが開催されました。まさに「〇〇の秋」にふさわしい季節となっております。学校におきましても、町陸上記録会、修学旅行、各学年の見学旅行等々、多くの行事が連続し、充実した毎日を送っています。子供達が多くの行事を通して成長する姿を見ることができ、我々教職員としても嬉しい限りです。

「催し物」と聞くと、子供の頃からワクワクが止まらなかったのですが、読者の皆様は如何でしょう。少年時代、稲刈りが終わった季節、藁を燃やして香炉灰を作ってくれと言われたことがあります。火を使うこともありますが、ワクワクしながら作業開始。

香炉灰は藁を燃やした後、ふるいにかけて粒子を小さくするのが本当らしいのですが、我が家は藁の形が残った状態で香炉に入れていました。今でもたまたま同じ状態を見ることがあります。現在では稲刈り後の藁はコンバイン等で粉碎することが多いようですが、昔は捨てるのが勿体ないので多くのことに活用されていたのですね。童心に帰り作ってみようかと思いますが、もう稲刈りの藁は残っていないかもしれませんね。

## 仲良しハロウィン

10月の終わり、朝から校長室で執務中に、何やら職員室から賑やかな声が聞こえてきます。子供達が「ハッピーハロウィン！ トリックオアトリート！」と叫んでいます。そうです。ハロウィン恒例のアクションですね。前もって渡されていた、お菓子のシートを子供達に渡すと、ニッコリ笑顔になりました。来室した子供達は思い思いに仮装していて、とても可愛らしかったです。筆者世代には無かったお祭りですが、子供達の喜ぶ姿から「あってもいいかな」とも思います。只、世間を騒がせるようなことだけはしないで欲しいですね。雑踏事故等の危険なこともありますね。ルールを守って楽しいお祭りをして欲しいです。



## 地域のお祭り拝見

10月30日(日)、地域のお祭りを拝見しました。新山区の「秋祭り」です。当日、お昼頃に伺ったのですが、あまりに人が多かったので、ちよっと離れたところから見せて頂きました。賑やかな声の中にチラホラ見覚えのある声と顔があつて、しっかりと楽しむ子供達に、目を細めた筆者でした。ここ数年、コロナ禍の影響で多くの行事が中止や延期となり、それに伴ってソーシャルな場面で子供達を教育するという機会が少なくなってきました。コロナ以前にもその様な傾向はありましたが、ここ数年はそれが顕著です。やはり、子供達は地域の宝です。地域協働で、みんなで子供達を育てていきたいと思えます。

## 長洲町文化祭

11月3日から11月6日まで、長洲町文化祭が実施されました。筆者も開会式にお邪魔しました。今回の文化祭は長洲町合併65周年記念事業であり、併せて3年振りの実施というところで、主催者の方々の思い入れも一入だったと思います。芸能部門と展示部門とに分かれ、町民の皆様の「表現」の場に多くの方がいらっしゃっていました。

文化活動は人生の質(QOL)を豊かにします。私も書道を嗜み、芸術活動を楽しむ者の一人として、この様な場所にはよく行きます。先日にも熊本県立美術館分館に行ってきました。熊本県という括りの中で多くの芸術の展覧が行われている場所です。

筆者の表現の場所に限られています。今積極的に取り組んでいるのは、卒業生へ色紙を送ることで、一人一人に会った言葉を送っています。

### 第3回小中連携あいさつ運動

11月4日(金)、長洲中学校と協力してあいさつ運動が実施されました。今回も長洲中学校の生徒さんが出身小学校へ出向く形で行われました。朝から賑やかな声が聞こえるな〜と思いい運動場を覗いてみますと、中学生が小学生のモチベーションアップを図るために、ハロウィン風の仮装をしてきていたのです。小学生にとってみれば中学生はもう大人のような存在ですが、今回の様に生徒さん達の工夫で少しでも親しみやすい雰囲気を作ってくれば、小学生の中学生に対する憧れと同時に、中学校への垣根を取り払ってくれることにもなるのではないかと期待をしています。中学生はこれまでの活動を検証し、12月に行われる「NAGASUサミット」で報告をしてくれるそうです。



### 修学旅行に行きました

10月31日(月)から11月1日(火)にかけて、6年生は修学旅行に行ってきました。2日間共に晴れて、全員元気に学習と活動をしてきました。

1日目は平和学習でしたが、真剣に学ぶ姿から、今後学びを深めて他学年だけでなく地域やもっと広い世界に啓発してくれるのではないかと期待しているところです。平和学習については、子供達はスタートラインに立ったばかりであり、まだまだ多角的な視点からの学習が必要です。歴史を学び、そして「目には目を」というような姿勢では平和な世界は実現できないということを実感して欲しいものです。

2日目は佐世保市にあるハウステンボスにおいて、全力で思い出作りをしていました。広い敷地を縦横無尽に歩き(走り)周り、時間の無駄が無いように、班のメンバーと話し合いながら活動していました。

後半はお土産選びが大変だったようですが、不思議なことに半数ほどの子供達がキャラクターのかぶり物を買っていたことには面食いました。それでも多くの思い出ができて、お金では買えない収穫も多い修学旅行だったようです。

